

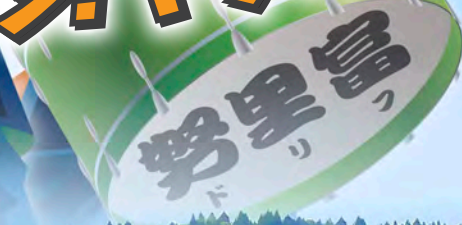


効き目で応援！  
 使いやすさで応援！  
 一発除草のイトコドリフ。

ドリフ®  
 1キロ粒剤



ドン! ドン! ドリフ! ドン! ドン! ドリフ!



- ノビエに対する高い除草効果
  - 難防除多年生雑草への高い除草効果
  - 特殊雑草にも有効
  - 田植同時散布可能
  - 直播水稻に使用可能
  - WCS用イネに使用可能
- 生産者の皆さまを、除草力と使いやすさで応援します。



©ドリフはバイエルグループの登録商標

幅広い殺草スペクトラムで、ノビエをはじめ、SU抵抗性雑草や難防除多年生雑草に有効です。



## ■特長

- |   |                  |                                  |
|---|------------------|----------------------------------|
| 1 | 4成分の最適配合で高い除草効果  | 4種混合で広い殺草スペクトラムを示します。            |
| 2 | ノビエに対する高い除草効果    | 殺草効果・残効性ともに優れています。               |
| 3 | 難防除多年生雑草への高い除草効果 | クログワイ・オモダカ・コウキヤガラなどに高い除草効果を示します。 |
| 4 | 特殊雑草にも有効         | キシウスズメノヒエに対して高い除草効果を示します。        |
| 5 | 田植同時散布可能         | 水稲に対して高い安全性を示します。                |
| 6 | 直播水稲に使用可能        | イネ1葉期からノビエ3葉期まで使用できます。           |
| 7 | WCS用イネに使用可能      | 4-HPPD阻害剤に感受性の品種にも使用できます。        |

## ■適用雑草と使用方法

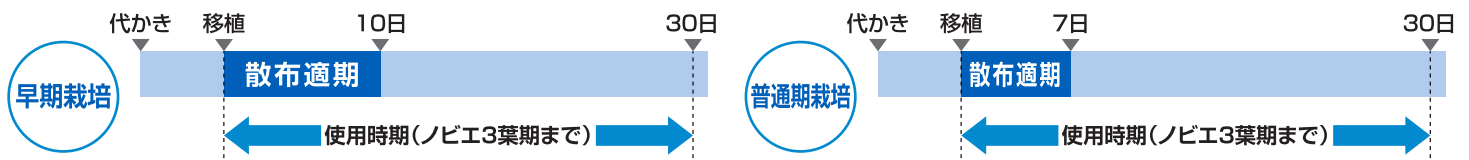
(2019年12月現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ オモダカ、クログワイ コウキヤガラ キシウスズメノヒエ	移植時	1kg	本剤 1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで		エトキシスルフロン 2回 クロメプロップ 2回 トリアファモン 2回	湛水散布 または 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草 および ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで		フェントラザミド 1回	

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

## ■使用時期

使用時期は、移植時(田植同時)からノビエ3葉期まで、ただし移植後30日までです。  
 下記に一発処理の目安を日数で示しました。ノビエの発生状況を確認して適期に散布して下さい。



## ■注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失ないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれか出るため、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは3葉期まで、ミズガヤツリは草丈15cmまで、ウリカワは3葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、オモダカは発生前から発生始期まで、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、キシウスズメノヒエは再生始期までが本剤の散布適期です。オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 散布の際は、水の出入りを止めて十分な湛水状態(水深3～5cm)のまま、まきむらが生じないように均一に散布して下さい。また、極端な浅水や深水での使用はさけて下さい。
- 無人航空機で散布する場合は、次の注意を守って下さい。
  - ①散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
  - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
  - ③事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
  - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布して下さい。
  - ⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意して下さい。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
  - ①砂質土壌の水田および漏水水田(減水深2cm/日以上)
  - ②軟弱苗を移植した水田
  - ③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。
- 暑い多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけて下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
- 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎおよびさやえんどうを栽培しないで下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00  
 土・日・祝日を除く

(F-3277 19.12.jeki)